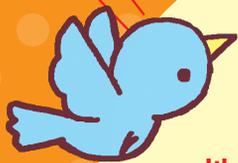


「妊産婦・乳児救護所」をご存知ですか??



妊産婦・乳児救護所とは…

地震により自宅での生活が難しい場合など、妊婦・乳児とその母親のみを一時的に受け入れ、避難生活のサポートや医療・健康相談を行う避難所です。

文京区では、被災地派遣職員の報告や区内医師会の提言、区内大学や助産師会等の協力により、全国に先駆け、妊産婦・乳児への災害対策を実施しています。「もしも災害が起きたら…」をイメージしながら、ご一読ください。



対象者

妊婦、
乳児（0歳児）
及びその母親

開設期間

区内で震度5弱以上の地震が発生した場合等、区災害対策本部の決定により開設します。原則、災害発生の日から7日以内（最大延長7日間）

防災アプリ・ポータルをご確認ください

大雨・地震等の災害情報や避難所の開設情報を区民の皆さんへ迅速、適切に伝えるため、**防災アプリ・ポータル**で災害情報をお伝えします。これらの情報は全て無料で配信していますので、災害への備えとしてお役立てください。

防災アプリ

スマートフォンやタブレット端末で各種災害情報等を確認できるアプリです。



App Store
(iPhone 端末)
の方はこちら



Google Play
(Android 端末)
の方はこちら

防災ポータル

避難情報、避難所開設情報、被害情報等の各種情報をお知らせします。

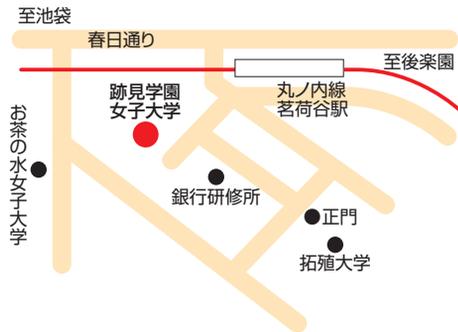


妊産婦・乳児救護所に指定している

4つの大学

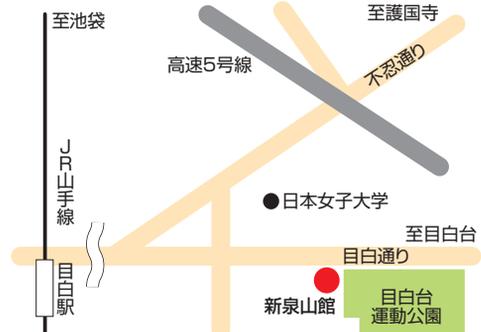
跡見学園女子大学

文京区大塚1-5-2



日本女子大学(新泉山館)

文京区目白台1-19-10



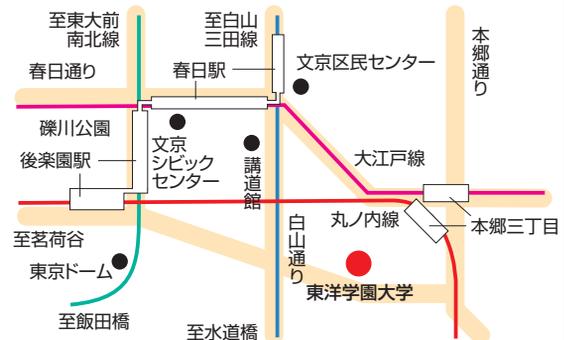
貞静学園短期大学

文京区小日向1-26-13



東洋学園大学(1号館)

文京区本郷1-26-3



災害が起きる前に できること チェックリスト

日頃の
備え

- 備蓄物資7日間(最低3日間)分の用意や非常持ち出し品の用意
- 家具の転倒防止器具の設置
- 窓ガラスの飛散防止対策
- 情報収集手段の確保
- 家族の連絡方法
(災害用伝言ダイヤル171)
- 避難場所 避難経路の確認

文京区防災課

☎ 03-5803-1746

問合せ

・ スタッフ体制 ・

避難所の運営は区職員及び各大学の教職員等が行い、妊産婦・乳児のケアは、助産師会等から巡回する助産師、看護師、医師等が行います。

・ 備蓄物資 ・

非常食や毛布の他、新生児用の粉ミルクやオムツ、液体ミルク等を備蓄しています。

・ 注意事項 ・

- 家屋の倒壊、または倒壊の恐れがない場合、在宅避難をお願いします。
- 妊産婦・乳児救護所の性質上、対象者以外の方は施設に入ることができません。
- 施設で対応できない重症患者等は、後方医療施設(順天堂大学病院等)へ搬送する場合があります。